

熊本県内の企業10社を対象に、9月～12月の計3回、ワークショップ形式で、SDGs経営の意義や具体的導入方法への理解を深め、実際に導入プロセスに取り組む素地を養って頂きます。

◆ファシリテーター

SDGパートナーズ有限会社 代表 田瀬 和夫 氏

外務省、国際連合事務局等の経験を経て、2017年9月にSDGパートナーズを設立し、SDGsの推進に向けた支援を展開。福岡県出身。

◆参加企業10社

参加企業名 / 代表者	所在
(株)オジックテクノロジーズ / 金森 秀一 https://www.ogic.ne.jp	熊本市
熊本利水工業(株) / 田中 祐治 https://www.k-risui.jp/	熊本市
金剛(株) / 田中 稔彦 https://www.kongo-corp.co.jp/	熊本市
白川電機(株)熊本製作所 / 徳富 顕二 http://www.shirakawa-kp.co.jp/	上益城郡益城町
(株)富坂建設 / 富田 潤一 https://www.tomisaka.co.jp/	熊本市
(株)野田市電子 / 野田 珠実 https://www.nodaichi.co.jp/	熊本市
(株)ビッグバイオ / 阪本 忠幸 https://big-bio.com/	宇城市
不二高圧コンクリート(株) / 岸川 健太郎 https://fuji-dream.co.jp/	熊本市
(株)プレシード / 松本 修一 https://www.preceed.co.jp/	上益城郡嘉島町
(株)ユニバーサリー / 中川 博文	熊本市

◆第1回ワークショップ (2022年9月12日)

事前課題として①社内プロジェクトチームの立ち上げ、②コア・コンピタンスの選定、③2040年の理想の社会及び、ESGの側面からの自社のありたい姿の検討等に取り組んで頂き、ワークショップ当日に発表、意見交換を行いました。



意見交換の様子 (場所：熊本県庁会議室)

●講演：田瀬代表「中小企業のESG対応とバリューチェーン分析」

ESG対応は人であれば内臓の健康維持。
持続的成功のための「充分条件」ではなく「必要条件」

力と技 = 資本とビジネスモデル

- オリンピックでメダルを取ろうと思ったら力も技も必要。同様にビジネスで勝つためには強力な資本とビジネスモデルが必要
- ただし、内臓(組織)が弱ければ力も技も発揮できない。また、選手として長くは続かない

頭と心 = 戦略と理念

これがなければ人も企業もそもそも成り立たないし勝てない

内臓 = ESG投資の評価対象
= これまで商売とは無縁と思われてきた「非財務情報」

- いかに戦略があり、また筋力や技が優れているようでも、内臓に欠陥があれば長持ちしない
- いかに内臓が健康で強くとも、それだけではオリンピックでメダルは取れない

© SDG PARTNERS, INC. 60

出所：田瀬代表の資料を元に作成

●施策紹介：環境省九州地方環境事務所 参考「中小企業事業者のための脱炭素経営ハンドブック」

資料のダウンロードは、[環境省HP](#) (←クリック) からお願いします



QRコード